



2025年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年6月7日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
コード番号 9692 URL https://www.cec-ltd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 姫野 貴
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 義幸 TEL 046-252-4111
四半期報告書提出予定日 2024年6月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第1四半期の連結業績（2024年2月1日～2024年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期第1四半期	14,049	6.3	1,919	4.2	1,924	3.9	1,311	2.0
2024年1月期第1四半期	13,222	12.0	1,842	104.6	1,853	104.2	1,286	53.6

(注) 包括利益 2025年1月期第1四半期 1,601百万円 (22.9%) 2024年1月期第1四半期 1,302百万円 (59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期第1四半期	39.02	38.98
2024年1月期第1四半期	38.33	38.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年1月期第1四半期	52,608	41,389	78.6	1,230.17
2024年1月期	51,391	40,787	79.3	1,212.54

(参考) 自己資本 2025年1月期第1四半期 41,353百万円 2024年1月期 40,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	-	25.00	-	30.00	55.00
2025年1月期	-	-	-	-	-
2025年1月期(予想)	-	25.00	-	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,700	4.7	3,160	△10.4	3,175	△10.5	2,170	△11.5	64.55
通期	56,500	6.4	6,280	△1.3	6,300	△1.7	4,300	△5.3	127.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年1月期1Q	37,600,000株	2024年1月期	37,600,000株
② 期末自己株式数	2025年1月期1Q	3,983,910株	2024年1月期	3,983,862株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年1月期1Q	33,616,100株	2024年1月期1Q	33,569,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社ホームページ (<https://www.cec-ltd.co.jp>) にて、四半期決算補足説明資料を2024年6月7日(金)に公開予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
受注高および受注残高の実績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年2月1日～2024年4月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなか、政府による景気支援策の効果もあり緩やかに回復が進みました。先行きについては、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクは依然継続しており、加えて、物価上昇、地政学的リスク、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

情報サービス産業においては、国内景気の回復が続くなか、企業の生産性向上や競争力強化のためDX関連投資の意欲は引き続き高い状況にあり、今後もビジネス構造改革に向けたシステム刷新やクラウド化対応等、デジタル化の需要拡大が見込まれます。とりわけ、ChatGPTをはじめとする「生成AI」は普及が進み、AIを活用した業務効率化や働き方改革への適用が拡大しています。また、日々高度化するサイバー攻撃に対応するため、サイバーセキュリティ対策の需要は依然として高い傾向にあります。

このような情勢下、当社グループは2023年1月期から2025年1月期を対象とした3カ年の中期経営計画最終年度を迎え、「サステナブルな社会の実現」と「持続的成長」を目指し、「事業力の強化」、「人材・技術力の強化」、「経営基盤の強化」を基本方針として事業を推進いたしました。当第1四半期連結累計期間においては、営業部門の集約を図り、全社横断的なクロスセルおよびアップセルによる主要顧客への深耕や新規商談の開拓に尽力しました。加えて、パートナー企業との連携を強化し、販売やマーケティング支援のほか、共創による社会課題解決を目指すパートナープログラムを立ち上げました。また、事業活動を通じた社会貢献活動の一環として、ぬりえやペーパークラフトなどの紙のおもちゃを手軽に印刷できる子育て支援用アプリケーションの無償提供を開始しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、総じてICT投資が堅調に推移し、主力事業^{※1}・注力事業^{※2}ともに計画通りの進捗となった結果、売上高は140億4千9百万円、前年同期比8億2千6百万円(6.3%)の増となりました。利益面においては、成長投資による費用増があったものの、増収に伴う増益により、営業利益は19億1千9百万円、前年同期比7千7百万円(4.2%)の増、経常利益は19億2千4百万円、前年同期比7千1百万円(3.9%)の増、親会社株主に帰属する四半期純利益については、13億1千1百万円、前年同期比2千5百万円(2.0%)の増となりました。

※1 主力事業：当社の収益基盤である受託開発をはじめ、ICTインフラの提供および運用構築事業、車載開発、組み込み開発や検証ビジネス等を、当社を支える安定した事業基盤である主力事業として定義しております。

※2 注力事業：①生産・物流ソリューション②モビリティサービス③マイクロソフト連携サービス④マイグレーションサービス⑤セキュリティサービス⑥DXクラウド基盤の6事業を当社の注力事業として定義しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。
(デジタルインダストリー事業)

主力事業における中部サービスおよび西日本サービスは、製造業顧客の活発なICT投資を背景に、システム開発が堅調に推移しました。注力事業のモビリティサービスでは、MaaS領域のビッグデータ分析やクラウド開発が好調に推移しました。一方で、生産・物流ソリューションにおいては、スマートファクトリー関連は昨年続き、投資抑制の影響を受け伸び悩んだものの、物流ソリューションは堅調に推移しました。結果、売上高は48億1千4百万円、前年同期比1億7千1百万円(3.7%)の増となりました。利益面においては、増収に伴う増益により、営業利益は12億4千5百万円、前年同期比7千3百万円(6.3%)の増となりました。

(サービスインテグレーション事業)

主力事業については、ICTインフラ構築、運用・保守およびシステム開発が押しなべて堅調に推移しました。注力事業のマイクロソフト連携サービスは、Dynamics 365およびPower Platformの商談数が増加し、好調に推移しました。マイグレーションサービスは、DX推進を背景にクラウド化やセキュリティ強化のための需要増加により堅調に推移しました。セキュリティサービスにおいては、自社セキュリティ製品の販売および監視サービスともに好調に推移しました。結果、売上高は92億3千5百万円、前年同期比6億5千4百万円(7.6%)の増となりました。利益面においては、増収に伴う増益により、営業利益は18億2千1百万円、前年同期比1億5千3百万円(9.2%)の増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は526億8百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億1千7百万円の増加となりました。これは、おもに現金及び預金が15億4千6百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は112億1千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億1千5百万円の増加となりました。これは、おもに賞与引当金が5億9千5百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は413億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億2百万円の増加となりました。これは、おもに利益剰余金が3億3百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が1億5千5百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については、2024年3月8日に公表しました業績予想に変更はございません。今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,714,532	28,260,707
受取手形、売掛金及び契約資産	10,343,099	9,401,818
商品	319,019	125,381
仕掛品	531,948	581,774
未収入金	30,346	10,601
その他	1,075,983	1,219,959
貸倒引当金	△9,394	△9,038
流動資産合計	39,005,535	39,591,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,561,882	4,577,126
土地	2,004,644	2,004,644
その他（純額）	871,959	845,884
有形固定資産合計	7,438,487	7,427,655
無形固定資産		
その他	239,307	376,589
無形固定資産合計	239,307	376,589
投資その他の資産		
その他	4,719,660	5,225,147
貸倒引当金	△11,909	△11,909
投資その他の資産合計	4,707,750	5,213,237
固定資産合計	12,385,544	13,017,481
資産合計	51,391,080	52,608,685

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,211,551	2,217,244
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	13,800	13,800
未払法人税等	795,357	873,546
賞与引当金	716,224	1,311,811
業績連動報酬引当金	—	11,412
株式報酬引当金	—	3,333
受注損失引当金	2,835	2,517
その他	4,916,547	4,860,069
流動負債合計	9,006,316	9,643,735
固定負債		
長期未払金	22,120	22,120
役員退職慰労引当金	15,050	16,080
退職給付に係る負債	111,131	113,148
資産除去債務	1,396,138	1,396,839
その他	53,118	27,231
固定負債合計	1,597,558	1,575,418
負債合計	10,603,874	11,219,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,737,978	6,737,978
利益剰余金	30,135,872	30,439,084
自己株式	△3,462,774	△3,462,860
株主資本合計	39,997,076	40,300,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455,482	610,554
為替換算調整勘定	12,611	17,172
退職給付に係る調整累計額	295,633	425,672
その他の包括利益累計額合計	763,727	1,053,399
新株予約権	26,401	35,929
純資産合計	40,787,205	41,389,532
負債純資産合計	51,391,080	52,608,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
売上高	13,222,568	14,049,299
売上原価	9,688,259	10,228,875
売上総利益	3,534,309	3,820,424
販売費及び一般管理費	1,691,968	1,900,502
営業利益	1,842,340	1,919,921
営業外収益		
受取利息	109	463
為替差益	142	—
保険配当金	7,953	7,175
その他	3,491	3,185
営業外収益合計	11,696	10,824
営業外費用		
支払利息	475	524
固定資産除却損	—	427
為替差損	—	4,797
その他	98	154
営業外費用合計	573	5,903
経常利益	1,853,463	1,924,841
特別損失		
固定資産除却損	454	—
特別損失合計	454	—
税金等調整前四半期純利益	1,853,009	1,924,841
法人税、住民税及び事業税	664,403	779,842
法人税等調整額	△97,959	△166,696
法人税等合計	566,444	613,145
四半期純利益	1,286,565	1,311,695
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,286,565	1,311,695

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)
四半期純利益	1,286,565	1,311,695
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,167	155,072
為替換算調整勘定	2,465	4,561
退職給付に係る調整額	34,784	130,039
その他の包括利益合計	16,083	289,672
四半期包括利益	1,302,649	1,601,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,302,649	1,601,368

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,642,497	8,580,071	13,222,568	—	13,222,568
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	177,012	177,097	△177,097	—
計	4,642,582	8,757,083	13,399,666	△177,097	13,222,568
セグメント利益	1,171,947	1,668,336	2,840,283	△997,943	1,842,340

(注) 1 セグメント利益の調整額△997,943千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年2月1日 至 2024年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	デジタルインダストリー事業	サービスインテグレーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,814,281	9,235,017	14,049,299	—	14,049,299
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	151,718	151,804	△151,804	—
計	4,814,367	9,386,736	14,201,103	△151,804	14,049,299
セグメント利益	1,245,872	1,821,849	3,067,721	△1,147,800	1,919,921

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,147,800千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

受注高および受注残高の実績

当第1四半期連結累計期間におけるデジタルインダストリー事業の受注高・受注残高は、顧客により差があるものの、ICT投資意欲は高く、好調を維持しました。また、サービスインテグレーション事業の受注高・受注残高は、自社製品特需の反動減はあったものの、DXに取り組む企業の増加により、前年並みに推移しました。

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
デジタルインダストリー事業	5,332,011	110.3	3,935,193	111.4
サービスインテグレーション事業	10,853,846	104.5	13,956,037	98.8
合計	16,185,858	106.3	17,891,231	101.3